

令和元年度事業報告

1 中長期計画の推進

質の高い福祉サービスの実現のため、平成 30 年度から 5 か年を計画期間とする「中長期計画」を基本に、働きやすい職場づくりや業務改善に取り組んでまいりました。令和元年度は計画の 2 か年度目となり、重点取組事項として掲げた①人材の確保と育成、②働きやすい職場づくり、③地域貢献活動の推進に法人を挙げて取り組んでまいりました。その他、④防災・安全対策の推進、⑤利用者サービスの向上、⑥施設の大規模改修・改築の準備を進めてまいりました。

(1) 人材の確保と育成

ア 人材の確保

介護分野における雇用情勢は増々厳しくなっており、新卒及び中途採用による人材の確保は困難さを増しております。このため、新卒者及び中途希望者に効果的な情報提供を行うための採用専用の Web サイトを新設しました。また、法人が募集する対象求人への紹介に対し謝礼金を支給する制度を新設し、職員の親族や知人などを紹介してもらい採用の拡大に繋げてまいります。

さらに介護分野における人材確保のために出入国管理法が改正され、在留資格「介護」や「特定技能」制度が創設されたことを受け、インドネシアから 5 名の介護士を受入れることとしました。(7 月以降に「とよた苑」、「第 2 とよた苑」に配置予定)

イ 人材の育成

人材育成については、「キャリアパス制度」を構築し、職員の職位、職責に応じた能力要件を定めるとともに、職員個人が思い描く将来の働き方を自ら選択できる制度としました。また、新たに構築した「人事評価制度」により、上司が年 2 回個々の職員の能力を評価し、フィードバックすることで、職員のスキルアップを促してまいります。こうしたスキルアップを処遇面でも優遇するため、給与制度の改正を行いました。

職員研修については、新卒者に対する入職前研修やフォローアップ研修、中途採用者を対象とした初任者研修、新人リーダー研修や管理者研修などの階層別研修、資格取得支援のための介護福祉士受験対策講座や介護福祉士実務者研修を開催し、職員の資質向上に努めました。

さらに、法人内で「事例研究発表会」を開催し、施設ごとに編成された 6 チームがサービス向上や業務改善などをテーマに取り組んだ成果を発表することで、職員の団結力や資質の向上に繋げてまいりました。

【採用実績】 《 》内は 30 年度実績

- ・新卒採用者 13 人 《17 人》
- ・中途採用者 117 人(うちパート 67 人) 《148 人(うちパート 65 人)》

(2) 働きやすい職場づくり

ア ICT やロボット技術の活用

平成 30 年度から導入を進めた見守り支援ロボット「眠りスキャン」及び介護ソフト「ケアカルテ」を活用し、入所者の睡眠時のバイタルデータを随時記録することで、睡眠の改善や診療時のデータの提供が可能となりました。また、各種記録物をケアカルテ内に集約することで異なる職種間で情報共有が可能となるとともに記録作成業務の軽減や書類の削減に繋げることができました。

また、スマートフォンと通信が可能なナースコールや専用の通信機器を導入することでスマートフォンと「ケアカルテ」や「眠りスキャン」及びナースコールとの連動が可能となり、業務の効率化やより充実したサービスの提供に繋げることができました。

イ 職場環境の充実

子育てをしながら職員が安心して働くことができる環境を整えるため、春緑苑内に事業所内託児所を整備しました。また、託児所の設置は子育て中のパート職員の確保にも繋がっており、多くの職員に利用されているところです。

さらに、職員の出退勤の管理や勤務表作成を支援するためのシステムを導入し、労務管理業務の軽減を図りました。

(3) 地域貢献活動の推進

平成 30 年度に大府の郷に開設しました常設のふれあいサロン「長草横丁」につきましては、NPO法人「はっぴいわん大府」が食事・喫茶の提供や手芸などを通じて生きがいづくりの活動を行っております。

(4) 防災・安全対策の推進

ア BCP の策定

この地域で発生が懸念される東海・東南海地域を震源とする大規模地震や近年日本各地で発生しております豪雨による大規模災害などによる被災後における事業の継続や早期復旧、再開のため、各拠点において「事業継続計画」を策定しました。この計画では、災害発生時においても命を守る最低限のサービスを継続するための優先事業や必要な業務を予め選別するとともに、必要な備蓄品リスト、災害時における職員体制などを取りまとめました。

イ 非常用自家発電設備の整備

災害による停電時に施設機能に必要な最低限の電源を確保するため、各拠点に非常用自家発電設備(9基)を設置しました。また、発電機の燃料となるLPガスに直接接続が可能な炊飯・煮炊き用の移動式大型調理セットも併せて整備しました。

ウ 安全対策の推進

法人所有の車両のメンテナンスを一括外部委託し、半年ごとの車両点検を行うこ

とで車両を常に良好な状態に保つことができるようになりました。

また、利用者の送迎に使用する車両(107台)を優先してドライブレコーダーを順次設置し、運転者の交通安全意識を高めるとともに事故時の検証にも役立てます。

(5) 利用者サービスの向上

入所施設における寝具を一新し、全施設リース化するするとともに、高齢者施設については掛布団を羽毛布団としました。また、オムツについても、主要メーカーの製品についてモニタリングを行い、利用者にとって使い心地の良い製品に統一するとともに単価契約により経費の節減を図りました。

(6) 施設の大規模改修・改築の準備

ア 春緑苑短期入所施設の大規模改修事業

平成8年に開設した春緑苑短期入所施設は、23年が経過し全般的に老朽化が目立つようになり大規模改修が必要となりました。このため、改修工事に向け基本設計書及び実施設計書を作成しました。また、改修効果を最大限生かすため、令和2年度から単独型施設から特養併設型施設に変更し、特別養護老人ホームと短期入所施設を一体的に運営管理することで短期利用の方々が特養へ移行しやすい環境を整えてまいります。

イ 養護老人ホーム若草苑の改築事業

若草苑の改築に当たり、昨年12月に豊田市と「豊田市養護老人ホーム若草苑建て替えに関する基本協定」を締結しました。基本設計の策定のため、企画提案による業者選定により(株)空建築事務所が選定され、設計業務を委託することとしました。

(7) 中長期計画の令和元年度実施事業

実施事項	取組内容
法人本部の取組み	
【人材の確保と育成】	
外国人の受入れ	特定技能制度によりインドネシア人の介護士5名の受入れを決定
職員紹介制度の導入	法人が募集する対象求人への紹介に対し謝礼金を支給する制度を導入
採用サイトの新設	新卒採用者及び中途採用者への効果的な情報提供を行うためのWebサイトを新設
人事制度・給与制度の見直し	職員の能力開発や人材育成のため、人事評価システム及びキャリアパス制度を構築するとともに、キャリアパス制度と連動した給与制度に改正
【福利厚生の充実】	
事業所内託児所の設置	パート職員の雇用と職員の子育て支援のため、春緑苑内に事業所内託児所を開所
最寄駅からの通勤送迎	春緑苑・春日苑の職員を対象に通勤送迎バスの利用についてアンケートを実施

【ICT化の推進】	
タブレット端末対応の介護ソフトの導入	全ての施設に電子カルテ「ケアカルテ」を導入
介護ソフト連携型ナースコールの導入	スマートフォン対応型ナースコール「ビーナース」を順次導入
ネットワークセキュリティの強化	インターネット上に法人内拠点間を結ぶ専用のネットワーク(VPN)を構築し、通信の安定性やセキュリティを確保
【利用者サービスの向上】	
寝具の改善	寝具一式を全施設リース化し、高齢者施設の掛布団(夏・冬)を羽毛布団に変更
オムツの使用感の検証と契約の統一化	各施設が使用する利用者用オムツについて、主要メーカーの製品のモニタリングを実施。評価が高かった製品に統一し単価契約によるコストダウンを実現
【業務の効率化】	
車両リース、車両管理の一括契約	法人所有の車両のメンテナンスを一括外部委託
インターネットバンキング等の活用	インターネットバンキングを活用し振込みを行うことで、振込み手続きを合理化
勤怠管理システムの導入	職員の出勤管理や勤務表作成を支援するためのシステムを導入し、人事労務管理を効率化
【法人ロゴの製作及び公用車のラッピング】	
法人ロゴの製作	法人ロゴを活用し、名刺、封筒を作成
新ロゴを取入れた公用車のラッピング	公用車の車両更新時に合わせ、順次、法人ロゴを取入れたラッピングを実施
【その他事業】	
若草苑改築事業	豊田市と「豊田市養護老人ホーム若草苑建て替えに関する基本協定」を締結し、基本設計業務の業者を選定
ドライブレコーダーの導入	運転者の交通安全意識の高揚と事故時の検証のため、利用者送迎用の車両にドライブレコーダーを順次導入
事業所共通の取組み	
ICT活用による業務の効率化	「眠りスキャン」の導入による入所者の睡眠効率の改善や職員の負担軽減 介護ソフト「ケアカルテ」の導入による記録物の削減と職種間の情報共有化 「ケアカルテ」の記録管理や計画書管理などの機能向上のためのカスタマイズに向けた内容の精査
ワークライフバランスの推進	年休の計画的取得や勤務時間の見直しによる残業の縮小
職員のスキルアップ	介護福祉士実務者研修・実習指導者研修、社会福祉士実習指導者研修、認知症介護実践者研修・管理者研修、強度行動障害支援養成研修等内外の研修に参加(各施設) 介護福祉士等各種資格の取得(各施設) 喀痰吸引技能取得者の拡充(春緑苑、第2春緑苑、とよた苑、春日苑)
地域との連携強化	近隣地区の民生委員、老人会への広報活動の実施(春緑苑) 認知症カフェを地域ボランティアとの交流に活用(第2春緑苑) 中学校の福祉体験・特別支援学校の実習の受入れ(第2春緑苑) 勝川商店街の弘法市に相談センターを出店(第2春緑苑) 地域住民、民生委員等への施設説明会の実施(第2とよた苑)

	保見地区において認知カフェを実施(保見の里) ふれあいサロン「長草横丁」において定期的な交流の実施や勉強会への講師派遣(大府の郷) 出川地区との合同防災訓練のための協議会の開催(さくら保育園)
ボランティアの確保	新規ボランティアの確保(第2 春緑苑、第2 とよた苑、保見の里)
各事業所の取組み	
【春緑苑】	
医療機関との連携強化	褥瘡、排泄支援加算の実施
看取りケアの充実	研修会、勉強会の開催
ヘルパーの人員確保	登録ヘルパー2名の増員
【第2 春緑苑】	
医療機関との連携強化	精神科医との業務委託契約締結
看取りケアの充実	看取りマニュアルの作成、看取り介護実施に向け嘱託医と協議・調整
【とよた苑・東山デイサービスセンター】	
利用者重度化への対応	チェアインバス、低床・超低床ベッドの導入
機能訓練の充実	理学療法士・言語聴覚士の配置、立上り運動台・ハンドル付きステッパー・マルチホームトレーナーの導入(デイサービス)
介護教室等の開催	介護教室や展示会の開催(福祉用具)
【第2 とよた苑・保見の里】	
介護教室等の開催	地域住民を対象にVRを活用した認知症体験を実施
【若草苑】	
機能訓練の充実	足漕ぎ機器の運用(デイサービス)
【春日苑・ワーカー鷹来】	
他施設との交流	県内施設の視察、他施設行事への参加、交流
利用者重度化への対応	低床・超低床ベッド、特殊浴槽の運用
介護ロボットの導入	移乗サポートロボット「ハグ」の運用
防犯対策の強化	防犯カメラ・モニターの導入
【サンホーム豊田】	
利用者重度化への対応	浴室用リフトの導入、運用
機能訓練プログラムの実施	外部講師による健康体操教室を開催
【さくら保育園】	
防犯対策の強化	テラス、駐車場にLEDライトを設置

2 理事会・評議員会等の開催状況

(1) 理事会の開催

ア 第 229 回理事会(令和元年 6 月 6 日開催)

【審議事項】

- ・平成 30 年度事業報告及び決算について
- ・社会福祉充実計画の事業報告及び変更について
- ・諸規定の改正について
- ・役員等の報酬について
- ・理事及び監事の候補者選定について
- ・評議員選任・解任委員の選任について
- ・定時評議員会の招集について

イ 第 230 回理事会(令和元年 6 月 26 日開催)

【報告事項】

- ・役員の就任について

【審議事項】

- ・理事長の選定について
- ・常務理事の選定について

ウ 第 231 回理事会(令和元年 12 月 18 日開催)

【報告事項】

- ・職務執行状況の報告について

【審議事項】

- ・令和元年度補正予算について

エ 第 232 回理事会(令和 2 年 3 月 10 日開催)

【審議事項】

- ・評議員候補者の選定について
- ・令和元年度第 2 次補正予算について
- ・令和 2 年度事業計画について
- ・令和 2 年度当初予算について
- ・令和 2 年度資金運用計画について
- ・諸規定の改正について
- ・施設長等の任免について
- ・役員賠償責任保険の更新について

【報告事項】

- ・令和 2 年 3 月新規学校卒業者の内定状況について
- ・当法人における新型コロナウイルス感染症対策について

(2) 評議員会

ア 第 71 回評議員会(令和元年 6 月 26 日開催)

【報告事項】

- ・平成 30 年度事業報告及び決算について

【審議事項】

- ・社会福祉充実計画の事業報告及び変更について
- ・役員等報酬規程の改正について
- ・理事に西村眞氏を選任することについて
- ・理事に加藤富則氏を選任することについて
- ・理事に安井俊夫氏を選任することについて
- ・理事に伊藤弘氏を選任することについて
- ・理事に浅井敦臣氏を選任することについて
- ・理事に小木曾鉦三氏を選任することについて
- ・監事に山田健治氏を選任することについて
- ・監事に小山俊夫氏を選任することについて

(3) 評議員選任・解任委員会

ア 第 3 回評議員選任・解任委員会(令和 2 年 3 月 10 日開催)

【審議事項】

- ・評議員の選任について

3 事業運営状況

本法人が運営するサービス事業は、「令和元年度運営施設(事業)一覧」(9頁)の通り、春日井市、豊田市及び大府市において、38 事業所(法人本部除く 58 サービス事業)の運営を行っております。

介護保険事業のうち特別養護老人ホームについては、全施設の平均稼働率が 98%とほぼ前年度並みとなりました。収入ベースでは特定処遇改善加算により対前年度比で約 1.7%の増収となりました。

短期入所事業につきましては、全施設の平均稼働率が 87%と前年度の 97%を約 10%下回りました。収入ベースでも対前年度比で約 9%の減収となりました。

デイサービスセンターについては、一般型の全施設の平均稼働率が 77%とほぼ前年度並みとなりました。認知症対応型の全施設の平均稼働率は 64%と対前年度比で約 3%下回りました。収入ベースではデイサービス全体で対前年度比が約 2.2%の減収となりました。

障がい福祉サービス事業のうち、春日苑・サンホーム豊田の施設入所支援・生活介護の平均稼働率は 97%とほぼ前年度並みとなりました。短期入所では春日苑の稼働率が 48%と対前年度比で約 17%の減となりました。ワーカー鷹来については、

稼働率が 84%と対前年度比で約 11%の減となりました。障害福祉サービス全体の事業収入はほぼ前年度並みとなりました。

老人福祉事業については、若草苑の稼働率が約 90%と対前年度比で約 10%の増となり、収入ベースでも対前年度比で約 15%の増収となりました。

保育事業については、さくら保育園の事業収入が対前年度比で約 4%の増収となりました。

支出面では、人件費については、職員の減員もあり対前年度比で約 1%の減となりました。人件費率でも 68.9%と対前年度比で 1%の減となりました。

また、主な支出として、非常用自家発電設備の整備に要した経費のうち自己資金分が約 86 百万円、人事評価、勤務シフト作成支援、出退勤管理等のシステムの導入経費が約 20 百万円、春緑苑特養・グループホーム及び第 2 とよた苑特養のナースクール更新経費及び各施設のナースクールのスマートフォン用通信設備の設置経費が約 49 百万円、車両の更新経費が約 24 百万円となりました。